

2023年9月

お客さま本位の業務運営の実践に向けた取組状況について (2022年度)

当金庫は、十勝に暮らすお客さまの資産運用・資産形成に関する業務において、より一層お客さま本位の業務運営を実現するため、2017年12月に「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を制定後、2022年8月に同方針を改正しました。

本方針の取組状況をお客さまにわかりやすくご確認いただけるよう、具体的な指標等を定期的に公表してまいります。また、よりお客さまのお役に立てるよう取組状況や成果等を検証し、定期的に見直しを行ってまいります。

1. お客様にとっての最善の利益の追求

《主な取り組み1》

- ・常にお客様の最善の利益の追求を意識した業務運営を組織文化として定着させてまいります。
- ・お客様の最善の利益の追求のために、人材育成や研修を充実させ、専門性やコンサルティング能力を高めてまいります。
- ・お客様の知識・経験・財産の状況や投資目的やライフプラン・ライフサイクルを適切に把握し、お客様のニーズにお応えできるように金融商品・サービスをご提案してまいります。

<取組状況1>

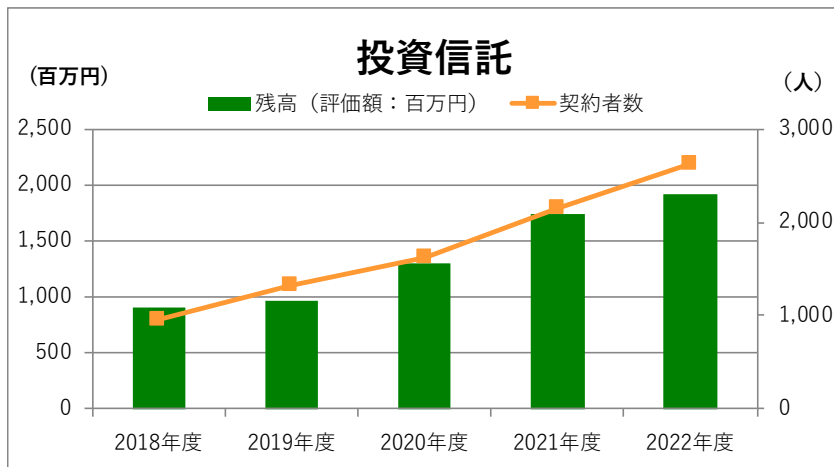
- (1) お客様のニーズに合わせて、保険商品や公共債などの金融商品のご提案に努めております。
- (2) お客様の多様なニーズに応えるべくコンサルティング能力の一層の向上を目指すため、それに有効な「FP技能士」の資格取得を積極的に推奨しており、資格者数は年々増加しています。
- (3) 投資信託ではお客様の安定的な資産形成に有効な制度であるNISA（少額投資非課税制度）を推進しており、2018年1月に創設された「つみたてNISA」も含め、NISA口座数は年々増加しています。また、安定的な資産形成に有効な積立投信（定時定額購入取引）を併せて推進しており、契約者数も年々増加しています。

【指標①】お客さまにとっての最善の利益の追求

【投資信託残高・契約者数】

(単位：百万円、人)

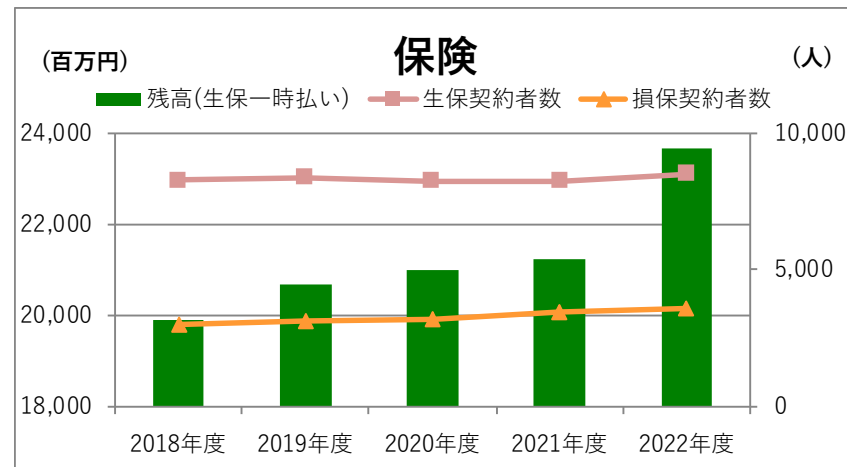
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
残高（評価額）	904	964	1,303	1,739	1,919
契約者数	952	1,320	1,630	2,149	2,629



【保険残高・契約者数】

(単位：百万円、人)

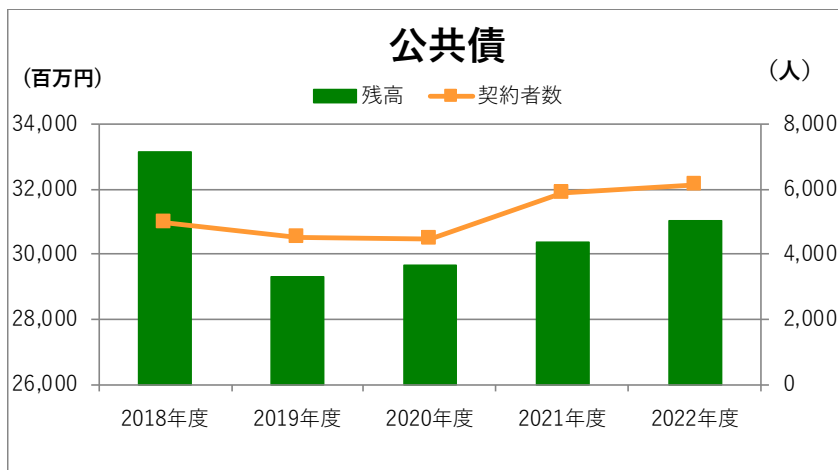
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
残高(生保一時払い)	19,913	20,677	21,016	21,218	23,671
生保契約者数	8,282	8,397	8,247	8,257	8,513
損保契約者数	2,971	3,103	3,191	3,445	3,593



【公共債残高・契約者数】

(単位：百万円、人)

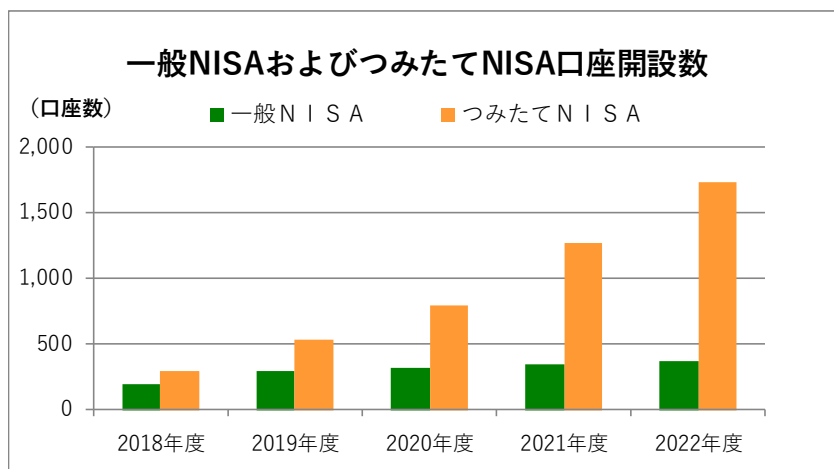
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
残高	33,144	29,325	29,672	30,360	31,016
契約者数	4,986	4,504	4,457	5,914	6,128



【指標②】お客さまにとっての最善の利益の追求

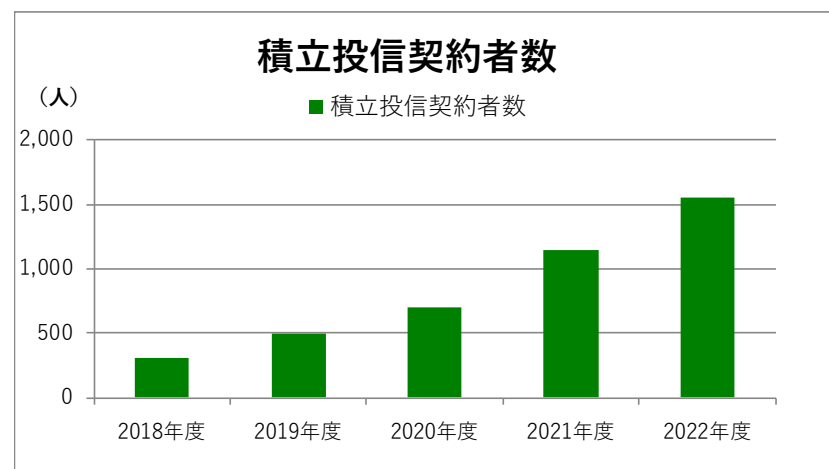
【一般NISAおよびつみたてNISAの口座数】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
一般NISA	188	289	321	345	365
つみたてNISA	295	534	791	1,276	1,733
合計	483	823	1,112	1,621	2,098



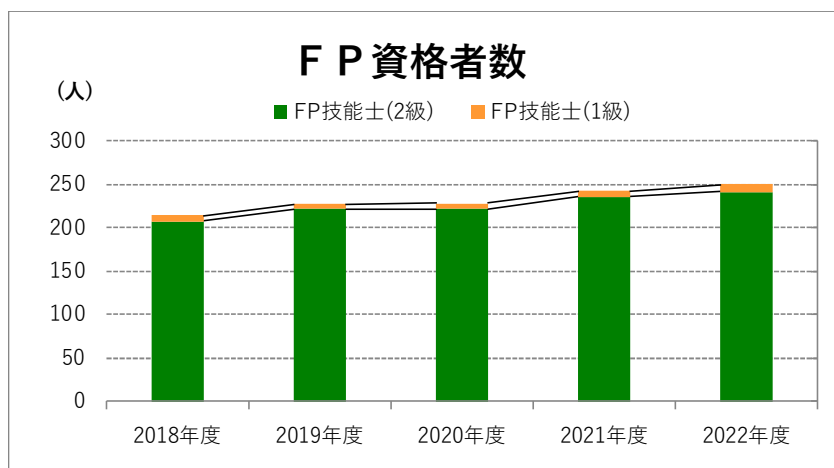
【積立投信（定時定額購入取引）の契約者数】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
積立投信契約者数	310	502	701	1,149	1,556



【FP技能士資格者数】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
FP技能士(1級)	6	6	7	7	8
FP技能士(2級)	208	222	222	236	242
合計	214	228	229	243	250



2. 利益相反の適切な管理

《主な取り組み2》

- ・営業部門から独立した管理部門に責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行ってまいります。また、利益相反管理について定められた法令および庫内規程等を遵守するため、役職員を対象に教育・研修等を行ってまいります。
- ・利益相反管理体制の適切性および有効性について定期的に検証してまいります。

《取組状況2》

- (1) 勧誘・販売時等に、主に重要情報シートを用いてお客様の利益と当金庫の利益が反する可能性を説明するよう努めております。
- (2) お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引について、規程に基づく管理方法により管理しています。
- (3) 利益相反管理に対する法令および庫内規程等を遵守するため、以下のとおり研修を開催いたしました。

【職員向け研修開催状況】（実施期間2023年1月30日～3月10日）

テーマ	参加人数
利益相反管理について	全職員

当金庫の「利益相反管理方針の概要」は、当金庫HPのトップページ最下部にある「各種方針」の中からリンクにて確認できます。

＜当金庫HPのトップページ最下部を抜粋＞

＜利益相反管理方針の概要＞

＜重要情報シートより抜粋＞

The screenshot shows the bottom of the Obihiro Shinkin Bank homepage. Under the '各種方針' (Various Policies) section, there is a link for '利益相反管理方針の概要' (Summary of the Policy on Conflicts of Interest). A red dashed arrow points from this link to a separate page showing the detailed content of the policy.

The screenshot shows a portion of an 'Important Information Sheet'. A red dashed box highlights a section that explains the bank's policy on conflicts of interest, specifically mentioning the bank's interest and the customer's interest.

重要情報シートを用いて、お客様の利益と当金庫の利益が反する可能性を説明します。

3. 手数料等の明確化

《主な取り組み3》

- ・重要情報シートのほか、契約締結前交付書面や目論見書、商品概要・設計書等の説明資料を用いて、お客さま一人ひとりにご理解いただけるよう、分かりやすい丁寧な説明を行ってまいります。
- ・商品・サービスの説明資料については、平易で分かりやすい表現を徹底するとともに、お客さまからの要望等を踏まえて、適宜改善に努めてまいります。

<取組状況3>

(1) 重要情報シート等の説明資料を用いて、お客さまにとっての費用や手数料等を、いつ、どの程度かかるのか、そして概算金額が分かるものは金額を提示しながら、出来るだけ分かりやすくご説明するよう努めております。

重要情報シート、目論見書、商品ラインナップ等を用いて分かりやすい丁寧な説明を行ってまいります。
当金庫HP（「個人のお客さま」→「運用する・備える」→「取扱商品（ファンド）一覧」等）でも各商品の
手数料等が確認できます。

<重要情報シートより抜粋>

項目	内容
購入手数料	購入金額に2.2% (税込) を上乗せして徴収いたします。
信託財産留保額	信託財産の運用に際しては、信託財産の総額に対して0.3% (税込) を留保いたします。
その他	信託財産の運用に際しては、信託財産の総額に対して1.155% (税込) を留保いたします。

<目論見書より抜粋>

項目	内容
購入手数料	購入金額に2.2% (税込) を上乗せして徴収いたします。
信託財産留保額	信託財産の運用に際しては、信託財産の総額に対して0.3% (税込) を留保いたします。
その他	信託財産の運用に際しては、信託財産の総額に対して1.155% (税込) を留保いたします。

<当金庫HPの取扱商品（ファンド）一覧より抜粋>

項目	内容
購入手数料 (税込)	2.20%
信託報酬 (年率、税込)	1.155%
信託財産留保額	0.3%

各資料をもとに、お客さまにとって分かりやすい形式で、費用や手数料等をご説明いたします。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

《主な取り組み4》

- ・重要情報シートや契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）、商品概要・設計書等の説明資料を用いて、お客さまの投資判断に必要な重要な情報について、誤解を招くようなことなく理解いただけるように、分かりやすくご提供してまいります。複雑またはリスクの高い金融商品・サービスの販売・推奨等を行う際は、同種の商品内容と比較しながら、お客さまが適切な投資判断や選択ができるよう、より丁寧かつ分かりやすい情報提供に努めてまいります。
- ・商品の説明に際しては、お客さまにご理解いただけているかを確認しながら説明するよう努めてまいります。
- ・お客さまへの情報提供や説明態勢については、お客さまが理解できるようより分かりやすく提供できているか、継続的に検証してまいります。説明資料についても同様に、継続的に検証し、見直してまいります。
- ・お客さまの投資判断や金融リテラシーの向上に資するよう、お客さま向けセミナーや相談会を随時開催し、適切な情報提供を行ってまいります。

<取組状況4>

- (1) 各商品の勧誘・販売時には、お客さまの投資判断に必要な重要な情報が含まれる重要情報シートを用いて、複数の商品を比較し、分かりやすく説明するよう努めております。
- (2) お客さまが適切な投資判断や選択ができるよう、お客さまが理解いただいているかを確認しながら、より丁寧かつ分かりやすい情報提供に努めております。
- (3) お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供に向けて、役職員が重要情報シートを適切に使用するための研修を、以下のとおり実施いたしました。
- (4) お客さまの投資判断や金融リテラシーの向上に向けたセミナーについては、経済情勢等をテーマにしたセミナーの他、商工会等の団体様や取引先事業者様の会員・従業員様に対する資産運用セミナーを開催しました。また、若年層の金融リテラシー向上を目的として管内教育機関に対して講師派遣をしました。（8ページ参照）

【重要情報シートの使用に係る研修開催状況】（使用開始日：2022年4月1日）

研修回数	延べ参加人数
29回	204名

【指標】 重要な情報の分かりやすい提供

【お客さま等向けのセミナー開催状況】（2022年4月～2023年3月）

		開催回数	延べ参加人数
①	お客さま向けセミナー(Zoom)	4回	42名
②	商工会等の団体様や取引先事業者様の 会員・従業員様に対する資産運用セミナー	14回	210名
③	地域教育機関に対する講師派遣	4回	48名

※①は、経済情勢等をテーマとしたセミナー

※③は、十勝管内高校2校に対して延べ4回の講師派遣を行いました。



地域教育機関に対する講師派遣

5. お客様にふさわしいサービスの提供

《主な取り組み5》

- ・お客様の多様なニーズにお応えするために適宜商品ラインナップを見直しするなど、お客様が必要とされる商品の品揃えに努めてまいります。
- ・金融商品・サービスの提案・販売に際しては、お客様の投資に関する知識や経験、財産の状況やお客様が許容できるリスク、投資目的等を把握した上で、ご提案してまいります。
- ・保有資産の状況や市場動向等の情報提供を行うとともに、お客様の意向を都度確認しながら、長期的な視点にも配慮した適時適切なアフターフォローを行ってまいります。
- ・ご高齢のお客様には、ご家族と一緒にご検討いただくことをお勧めします。
- ・商品の特性・リスク等を踏まえ、お客様にとってふさわしいとはいえない商品の可能性があるかと判断した場合には、ご提案を控えさせていただくこともございます。

<取組状況5>

- (1) お客様の資産運用および資産形成に向けた多様なニーズにお応えするため、2022年12月に商品ラインナップの見直し（新規追加1ファンド、新規募集停止2ファンド）の結果、前年比1商品減少しました。
なお、当金庫は金融商品の組成に携わっておりません。
- (2) 投資信託の提案・販売に際しては、お客様の投資に関する知識や経験、財産の状況、お客様が許容できるリスク、投資目的等を把握した上で、投資信託ラインナップや各商品の重要情報シートを用いて、投資信託のファンド選択のサポートに努めております。
- (3) 「長期・積立・分散」投資を基本に、お客様の長期かつ安定的な資産形成のサポートを目的とした提案・販売に努めております。
- (4) アフターフォローにつきましては、お客様の不安を払しょくするため、市場動向等にも配慮した適時的確なアフターフォローを実施しました。また、ご高齢のお客様には、役席者がお客様の状況変化等に配慮したアフターフォローや、お客様のライフプランの変化等に配慮したアフターフォローも実施しました。

【参考】お客さまにふさわしいサービスの提供

【投資信託ラインナップ】（2023年3月末時点）

商品分類		特定・一般・一般NISA口座用		つみたてNISA口座専用	
		商品数	構成比	商品数	構成比
債券	国内債券	1	4%	0	0%
	国内外債券	1	4%	0	0%
	海外債券	3	12%	0	0%
株式	国内株式	5	19%	2	33%
	国内外株式	5	19%	0	0%
	海外株式	4	15%	3	50%
不動産	国内REIT	2	8%	0	0%
	国内外REIT	1	4%	0	0%
バランス		4	15%	1	17%
合計		26	100%	6	100%
うちノーロードファンド※		3	12%	6	100%

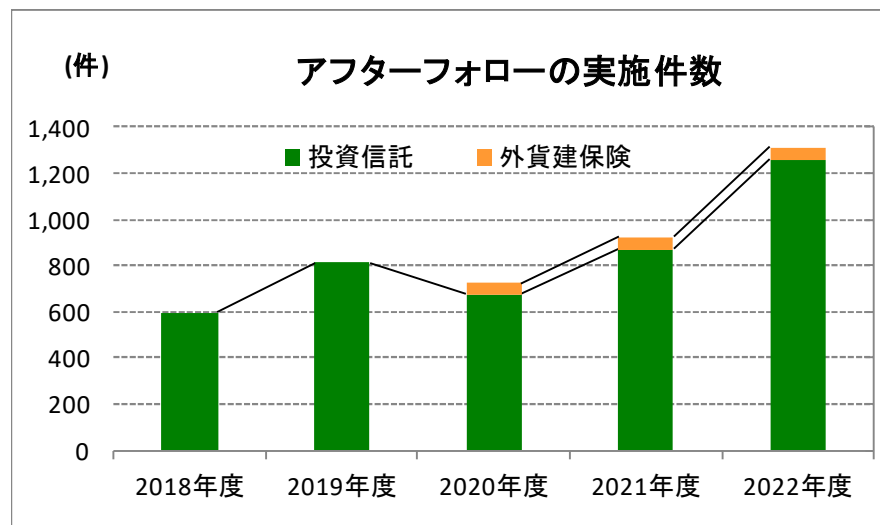
※ノーロードファンドとは、購入時手数料がかからない投資信託のことです。

【生命保険ラインナップ】（2023年3月末時点）

商品分類			商品数	構成比
一時払	終身保険	円建	2	16.7%
		外貨建	1	8.3%
平準払	個人年金保険	外貨建	1	8.3%
	定期保険		1	8.3%
	医療保険	個人専用	3	25.0%
		法人専用	2	16.7%
	がん保険		2	16.7%
合計			12	100.0%

【アフターフォローの実施状況】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投資信託	597	813	675	870	1,261
外貨建保険			48	52	51
合計	597	813	723	922	1,312



6. お客様本位の業務運営のための体制整備

《主な取り組み6》

- ・本基本方針の浸透に向け、庫内研修のカリキュラムの充実を継続的に図るとともに、役職員の理解度の検証に努めてまいります。
- ・役職員の担当業務や階層に応じた研修を継続的に実施し、商品や投資環境に関する知識、コンプライアンスおよびコンサルティング能力等の向上を図り、高い専門性と職業倫理を保持してまいります。

<取組状況6>

- (1) 役職員の商品や投資環境に関する知識、コンプライアンスおよびコンサルティング能力等の向上を図るため、以下のとおり研修を開催いたしました。
- (2) 教育・研修については、内部スタッフだけでなく、外部講師等も活用し、客観的な目線によるお客様本位の業務運営について学習しました。

【職員向け研修開催状況】（2022年4月～2023年3月）

お客様本位の業務運営をテーマとした研修を除く

	開催回数	延べ参加人数
本部主催研修	36回	1,059名
部店内研修	91回	715名

お客様本位の業務運営をテーマとした研修

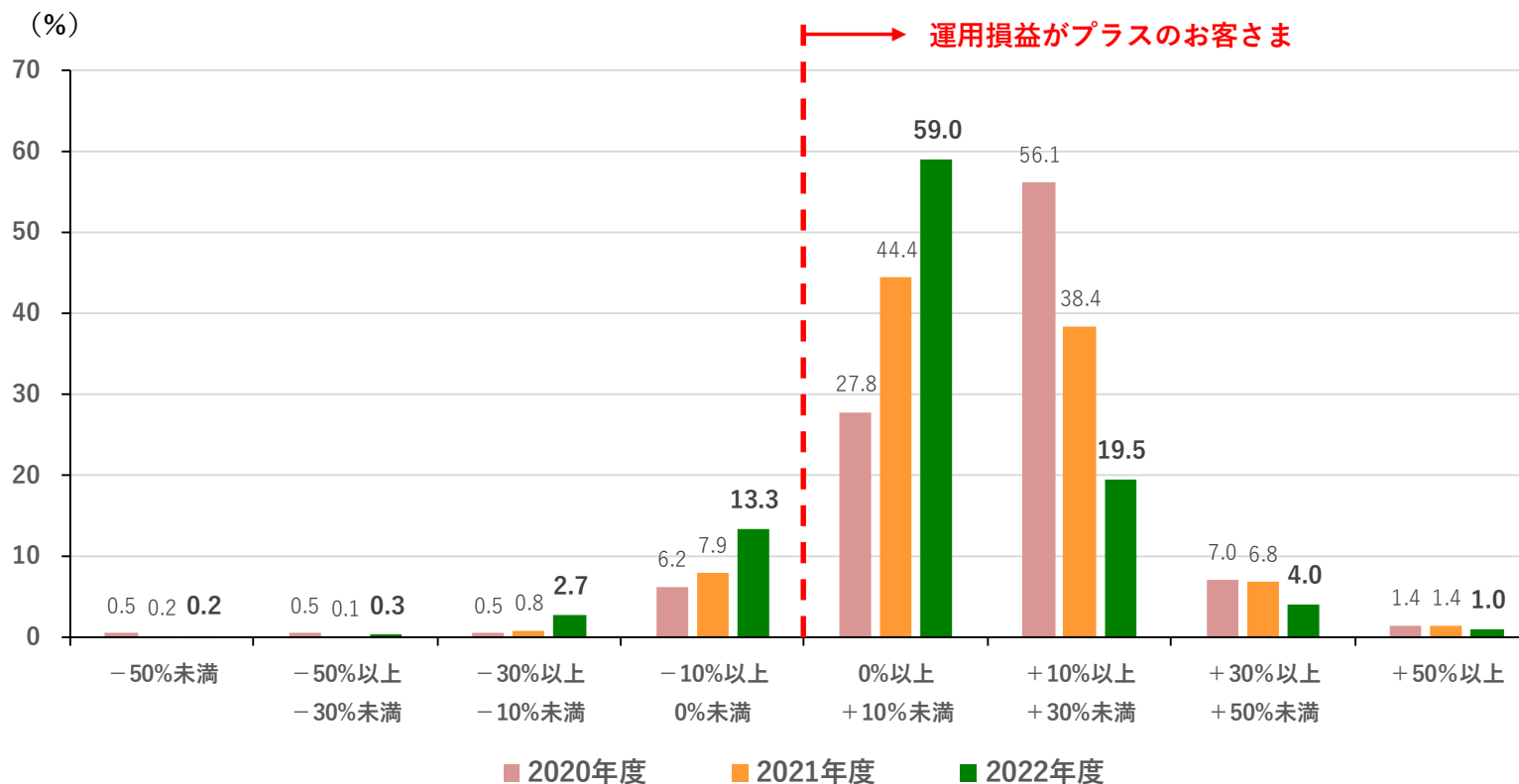
	開催回数	延べ参加人数
本部主催研修	3回	125名
部店内研修	11回	61名

【本部担当者による営業店への周知】（2022年6月～2022年10月）

- ・お客様本位の業務運営の浸透に向けて、本部担当者が全営業店訪問により周知しました。

【共通KPI】 投資信託の運用損益別顧客比率

- 当金庫で投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。
- 株価の変動などを背景に運用損益がプラスになっているお客さまの割合は昨年度の91.0%から83.5%に減少しました。



基準日：2023年3月末時点（2003年6月以降の数値をもとに算出）

運用損益：基準日時点の評価金額+累計受取分配金額（税引後）+累計売却金額-累計買付金額（購入時手数料〔税込〕を含む）

運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

【共通KPI】投資信託の残高上位20銘柄 (設定後5年以上のファンド) ①

【2022年度】2023年3月末時点				
順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1位	たわらノーロードバランス (8資産均等型)	0.14%	10.14%	5.41%
2位	たわらノーロード先進国株式	0.10%	17.99%	13.54%
3位	しんきんJリートオープン (毎月決算型)	1.49%	14.60%	3.17%
4位	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.32%	-0.48%
5位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.04%	6.60%
6位	DIAM高格付インカム・オープン (毎月決算コース)	1.54%	7.81%	2.31%
7位	しんきんグローバル6資産ファンド (毎月決算型)	1.60%	11.00%	4.97%
8位	たわらノーロード日経225	0.14%	17.07%	7.40%
9位	明治安田J-REIT戦略ファンド (毎月分配型)	1.43%	13.96%	5.19%
10位	しんきん世界好配当利回り株ファンド (毎月決算型)	2.09%	22.56%	9.24%
11位	たわらノーロード新興国株式	0.19%	19.16%	2.29%
12位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ノーヘッジ型)	1.19%	18.26%	12.55%
13位	AI (人工知能) 活用型世界株ファンド	2.24%	17.25%	9.27%
14位	投資のソムリエ	2.20%	3.72%	-0.44%
15位	たわらノーロードTOPIX	0.19%	15.07%	5.49%
16位	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)	1.49%	9.31%	3.74%
17位	たわらノーロード先進国株式<為替ヘッジあり>	0.22%	17.10%	7.44%
18位	三井住友・グローバル・リート・オープン (3ヵ月決算型)	2.41%	20.67%	3.60%
19位	ワールド・ビューティ・オープン (為替ヘッジなし)	2.46%	14.48%	9.09%
20位	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.71%	4.75%	1.60%

当金庫は、長期的な資産形成に適した投資信託を中心に取り扱いしており、当金庫取扱上位10銘柄のうち8銘柄が3年連続上位10位内に入っております。
また、つみたてNISA専用商品6銘柄中3銘柄が上位10位内に入っております。

コスト : (購入時手数料 ÷ 5) + 信託報酬 (年率)

購入時手数料は当金庫において最低販売金額での料率 (税込) を使用

信託報酬 (年率) は、目論見書記載の実質的な信託報酬率の上限 (その他の費用・手数料は含まず)

リターン : 過去5年間のトータルリターン (年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後 (税引前) の基準価額を使用

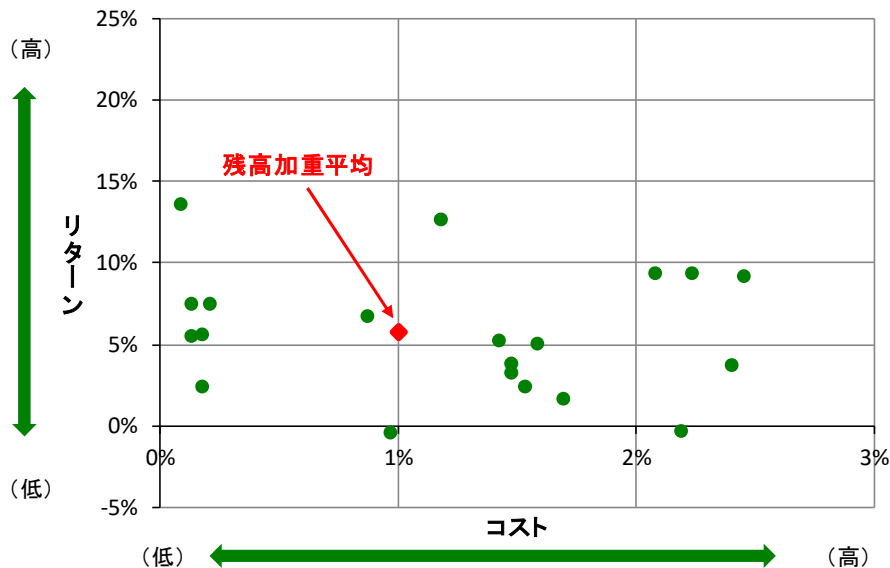
リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後 (税引前) の基準価額を使用

【共通KPI】 投資信託の残高上位20銘柄 (設定後5年以上のファンド) ②

【投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リターン】

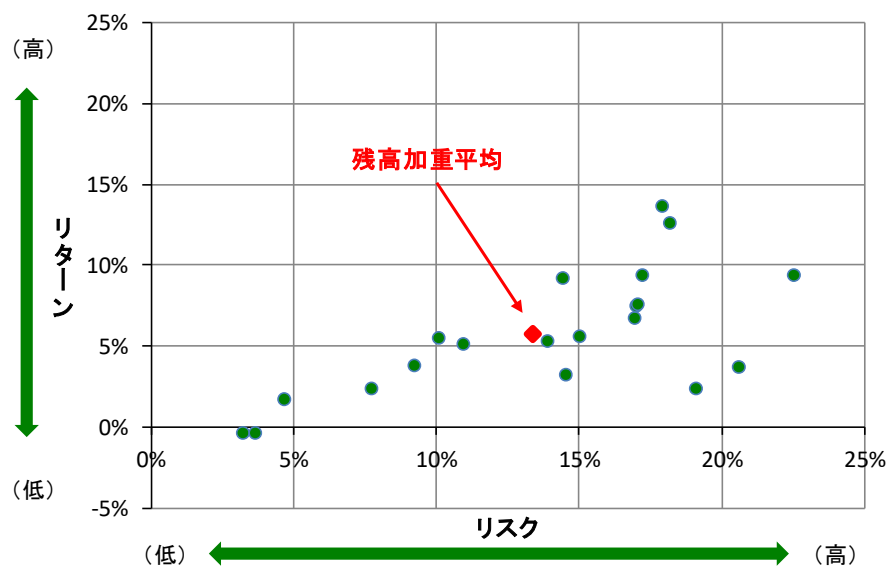
当金庫の投資信託の残高上位20銘柄について、コストに対するリターンを表示しています。



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.01%	5.71%

【投資信託の残高上位20銘柄のリスク・リターン】

当金庫の投資信託の残高上位20銘柄について、リスクに対するリターンを表示しています。



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.37%	5.71%

基準日：各3月末時点（2003年6月以降の数値をもとに算出）
対象ファンド：投資信託の預り資産残高上位20銘柄（設定後5年以上）

- コスト：（購入時手数料÷5）+信託報酬（年率）
購入時手数料は当金庫において最低販売金額での料率（税込）を使用
信託報酬（年率）は、目論見書記載の実質的な信託報酬率の上限（その他の費用・手数料は含まず）
- リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用
- リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

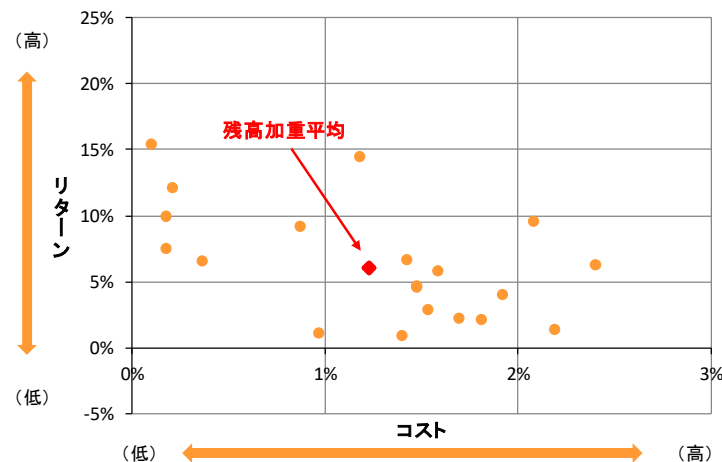
【共通KPI】投資信託の残高上位20銘柄

（設定後5年以上のファンド）③

【2021年度】2022年3月末時点

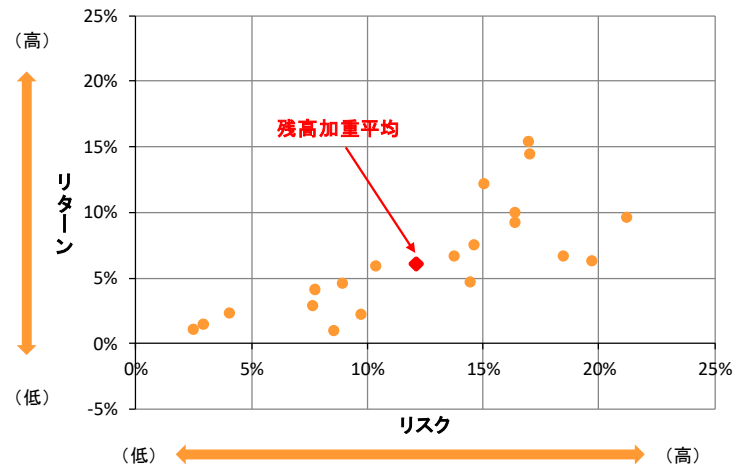
順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1位	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	1.49%	14.50%	4.59%
2位	D I A M高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	1.54%	7.69%	2.80%
3位	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	2.55%	1.00%
4位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	16.42%	9.11%
5位	たわらノーロード先進国株式	0.11%	17.04%	15.31%
6位	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	1.60%	10.41%	5.77%
7位	明治安田J-REIT戦略ファンド（毎月分配型）	1.43%	13.81%	6.57%
8位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	2.09%	21.27%	9.54%
9位	たわらノーロード日経225	0.19%	16.45%	9.86%
10位	たわらノーロード新興国株式	0.37%	18.53%	6.52%
11位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	1.19%	17.08%	14.35%
12位	投資のソムリエ	2.20%	2.99%	1.32%
13位	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	1.49%	8.99%	4.51%
14位	三井住友・グローバル・リート・オープン（3ヵ月決算型）	2.41%	19.78%	6.21%
15位	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	4.11%	2.16%
16位	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.82%	9.80%	2.08%
17位	たわらノーロードTOPIX	0.19%	14.68%	7.42%
18位	世界のサイフ	1.41%	8.64%	0.86%
19位	たわらノーロード先進国株式<為替ヘッジあり>	0.22%	15.11%	12.03%
20位	しんきんアジア債券ファンド（毎月決算型）	1.93%	7.83%	3.99%

【投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リターン】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.23%	6.09%

【投資信託の残高上位20銘柄のリスク・リターン】



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.14%	6.09%

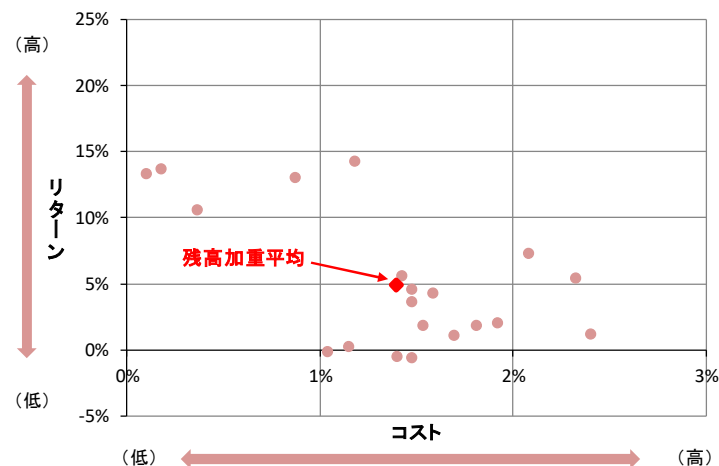
【共通KPI】投資信託の残高上位20銘柄

（設定後5年以上のファンド）④

【2020年度】2021年3月末時点

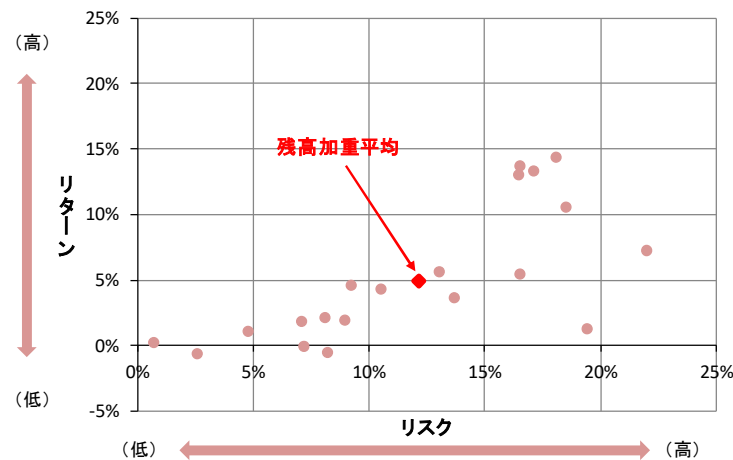
順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1位	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	1.49%	13.73%	3.55%
2位	D I A M高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	1.54%	7.13%	1.76%
3位	明治安田J-R E I T戦略ファンド（毎月分配型）	1.43%	13.11%	5.53%
4位	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	1.60%	10.60%	4.23%
5位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	16.54%	12.90%
6位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	2.09%	22.05%	7.17%
7位	たわらノーロード先進国株式	0.11%	17.16%	13.20%
8位	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	1.49%	9.29%	4.49%
9位	たわらノーロード日経225	0.19%	16.59%	13.60%
10位	たわらノーロード新興国株式	0.37%	18.59%	10.46%
11位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	2.67%	-0.72%
12位	三井住友・グローバル・リート・オープン（3ヵ月決算型）	2.41%	19.48%	1.15%
13位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	1.19%	18.14%	14.21%
14位	世界のサイフ	1.41%	8.27%	-0.64%
15位	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	4.86%	0.97%
16位	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	1.82%	9.03%	1.79%
17位	しんきんアジア債券ファンド（毎月決算型）	1.93%	8.16%	1.97%
18位	ニッセイ日本インカムオープン	1.16%	0.78%	0.13%
19位	ドルマネーファンド	1.05%	7.25%	-0.19%
20位	ダイワ・バリュース株・オープン	2.33%	16.60%	5.37%

【投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リターン】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.39%	4.95%

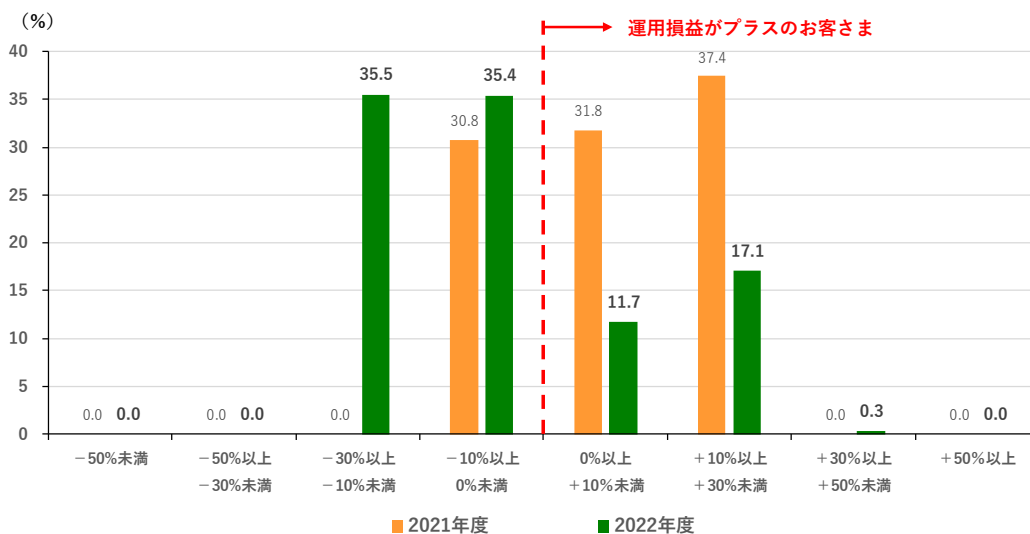
【投資信託の残高上位20銘柄のリスク・リターン】



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.15%	4.95%

【共通KPI】外貨建保険の運用損益別顧客比率

- 当金庫で外貨建一時払保険商品（外貨建平準払保険商品は除外）を保有しているお客さまの運用損益状況を運用損益率区分ごとに表示しています。
- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、**契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。**
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
- 2023年3月末時点では、運用損益プラスのお客さまは29.1%（2022年3月末比▲40.1ポイント）となりました。**



契約後期間別の内訳

	運用損益別顧客比率	
	マイナス	プラス
契約後5年以上	0.0%	100.0%
契約後1年以上5年未満	45.4%	54.6%
契約後1年未満	100.0%	0.0%
計	70.9%	29.1%

<運用損益マイナスの要因>

- 積立利率の上昇による新規契約や、ターゲット（目標値）に到達したお客さまからの意向による再契約の影響で、新規契約（契約後1年未満の運用損益マイナスの契約）が増加したこと。
- 円安相場によるターゲット到達契約の増加に伴い、当該契約（運用損益プラスの契約）の解約が増加したこと。
- 基準利率が上昇したため、市場金利調整により、既契約先において解約返戻金額にマイナスの影響があったこと。

基準日：2023年3月末時点（2017年10月以降の数値をもとに算出）

運用損益：①（基準日時点の解約返戻金＋基準日時点の既支払金額）－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）です。

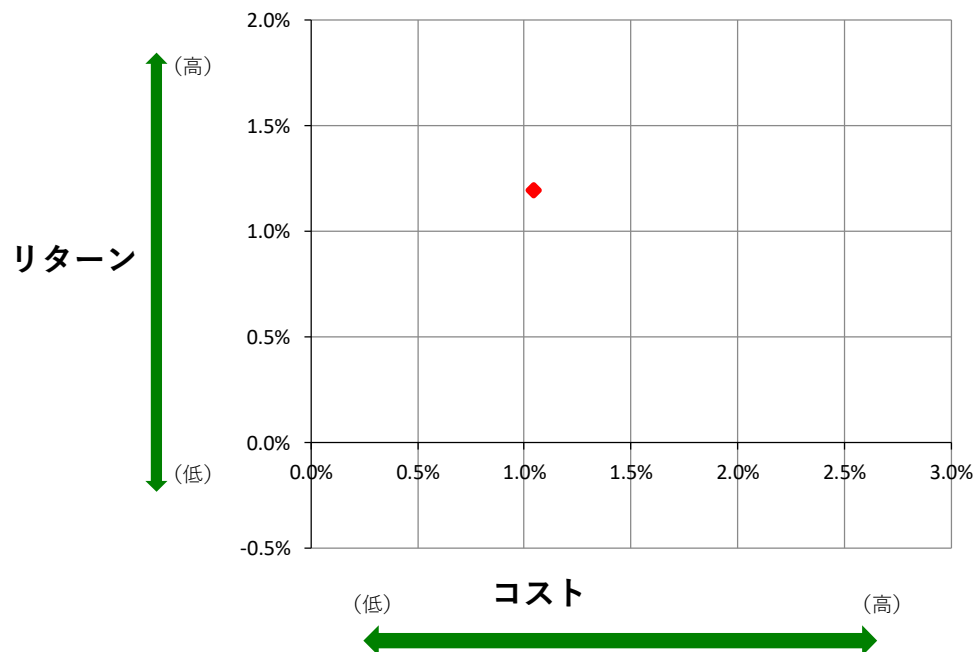
②解約返戻金額について、時価評価を行うため、金利変動による市場価格調整（MVA）は反映します。

③既支払金を外貨で支払った場合に使用する為替レートは各社の定める手法を適用します。

運用損益率：上記運用損益を契約時点の一時払保険料（円換算）で除して算出します。

【共通KPI】外貨建保険の銘柄別コスト・リターン

- ・ 保険契約開始から60ヵ月以上が経過した外貨建一時払保険の預り資産残高とコストとリターンの関係を示した指標は、下記の通りです。**2023年3月末時点における平均コストは1.05%、平均リターンは1.20%（今回より算出）となりました。**
- ・ 外貨建一時払保険のリスクについては、商品の特性上算出しておりません。



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.05%	1.20%

【銘柄別コスト・リターン】

個別銘柄の対象となる契約にかかる基準日時点の解約返戻金額 + 基準日時点の既支払金額の合計額で最大上位20銘柄とします。

※当金庫で算出の対象となる銘柄は、**ロングドリームGOLDのみ**です。

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均します。

リターン： $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均します。